

2018年3月22日

日本イーライリリー株式会社

〒651-0086
神戸市中央区磯上通 7-1-5
www.lilly.co.jp

EL18-10

日本イーライリリー 2017年度売上高は2,601億円を達成 —対前年比売上7.0%増の堅調な成長を遂げる—

日本イーライリリー株式会社(本社:兵庫県神戸市、代表取締役社長:パトリック・ジョンソン)は、2017年度売上高が、対前年比7.0%増*の2,601億円¹を達成したと発表しました。主力領域である糖尿病、がん、中枢神経領域が伸長したほか、新規となる自己免疫疾患領域への参入が順調であることを述べました。

主力製品の中で、中枢神経領域と疼痛領域での適応を持つ「サインバルタ[®]」²は、29.96%増*、がん領域の「サイラムザ[®]」は52.1%増*と大きく売上を伸ばし、成長を牽引しました。

幅広い製品をそろえる糖尿病領域では、週1回の持続性GLP-1受容体作動薬「トルリンティ[®]」³が217.72%増*、SGLT-2阻害薬「ジャディアンス[®]」⁴は166.94%増*、日本初のインスリン製剤のバイオシミラーである「インスリン グラルギン BS 注カートリッジ『リリー』および同注ミリオペン[®]『リリー』」⁴が26.82%増*と伸長し、日本の糖尿病領域のマーケットシェアでトップとなりました。

また、2016年11月に発売した乾癬治療薬の生物製剤「トルツ[®]」⁵も早速皮膚科等の医療現場に定着しはじめたほか、2017年には関節リウマチ治療薬「オルミエント[®]」を上市するなど、新規参入領域の自己免疫疾患でも順調に成長をしています。

<2017年 承認・適応追加、上市>

- 関節リウマチ治療薬・選択的 JAK1/JAK2 阻害剤「オルミエント[®]錠 4mg、同 2mg」製造販売承認取得(7月3日)、新発売(9月1日)
- 「ジプレキサ[®](経口剤)」、抗悪性腫瘍剤(シスプラチン等)投与に伴う消化器症状(悪心、嘔吐)適応追加(12月25日)

2017年度の業績について、日本イーライリリー代表取締役社長のパトリック・ジョンソンは次のように述べています。「主力領域の伸長と新規参入領域の順調な市場への浸透により、業界内でもトップレベルの対前年比7.0%成長*し、業界9位に入ることができました。今後も、現在のポートフォリオに加え、糖尿病、がん、中枢神経疾患、自己免疫疾患、疼痛など主要領域における豊富なパイプラインが控えており、さらなる成長を目指していきます。また、本年5月には新社屋への移転も予定しており、『働きがいのある職場作り』を推進すると共に、医薬品の提供のみならずデジタルの活用など患者さん・医療従事者のニーズに応えるサポートを展開していきます。研究開発の分野では、グローバル全体での『2014年から2023年までの10年間で20の革新的新薬の承認』という目標に沿って世界同時開発を継続し、日本の患者さんに革新的な製品をいち早くお届けできるよう努めていきます」

¹ 決算ベースの数字にグローバルアライアンスの売上等を加えた数字

² 塩野義製薬との共同販促(コ・プロモーション)

³ 大日本住友製薬との販売提携

⁴ 日本ベーリンガーインゲルハイム社との共同販促(コ・プロモーション)

⁵ 鳥居薬品との共同販促(コ・プロモーション)

* 薬価ベース、Copyright © 2018 IQVIA. JPM 2017年1月-12月 MATをもとに作成 無断転載禁止

<ご参考>

2017年度 製品別売上高（日本）(薬価ベース、IQVIA JPM (2017年12月MAT)をもとに作成)

製品名	領域	2017年売上高	対前年比(%)
サインバルタ®*	中枢神経系	541億円	29.96%
フォルテオ®	骨粗しょう症	493億円	0.83%
サイラムザ®	がん	439億円	52.10%
トラゼンタ®	糖尿病	406億円	5.50%
アリムタ®	がん	342億円	-8.16%
ジプレキサ®	中枢神経系	282億円	-40.78%
ストラテラ®	中枢神経系	270億円	17.97%
インスリン	糖尿病	159億円	-4.83%
トルリシティ®	糖尿病	140億円	217.72%
ザルティア®	泌尿器系	115億円	28.00%
ジャディアンス®	糖尿病	110億円	166.94%
エビスタ®	骨粗しょう症	97億円	-25.84%
ヒューマトロープ®	内分泌系	91億円	-3.23%
インスリン グラルギン BS 注リリー	糖尿病	40億円	26.82%
ジェムザール®	がん	29億円	-18.24%
トルツ®	乾癬	13億円	4744.81%
オルミエント®	関節リウマチ	1.26億円	n/a

本表の合計は決算ベースの売上の数字と一致しません。

* イーライリリーおよび塩野義製薬株式会社の売上を合算したもの

Copyright © 2018 IQVIA. 無断転載禁止

後期開発品一覧（日本）2018年3月22日現在

治験薬記号（一般名）および剤型	予定される効能又は効果 対象疾患名および症状名	開発ステージ （国内）
LY2835219（一般名：アベマシクリブ）カプセル剤	乳癌	申請中
LY3012207（一般名：olaratumab）静注製剤	軟部肉腫	第Ⅲ相
LY2062430（一般名：ソラネズマブ）静注製剤	プレクリニカル期アルツハイマー病	第Ⅲ相
LY2439821（一般名：イクセキズマブ）皮下注製剤	体軸性脊椎関節炎	第Ⅲ相
LY3009806（一般名：ラムシルマブ〔遺伝子組換え〕） 静注製剤	肝細胞癌	第Ⅲ相
LY3009806（一般名：ラムシルマブ〔遺伝子組換え〕） 静注製剤	膀胱癌	第Ⅲ相
LY3009806（一般名：ラムシルマブ〔遺伝子組換え〕） 静注製剤	非小細胞肺癌	第Ⅲ相
LY3314814（一般名：lanabecestat）錠剤	早期アルツハイマー病における進行抑制	第Ⅲ相
LY2951742（一般名：galcanezumab）皮下注製剤	片頭痛発作の発生抑制	第Ⅲ相
LY2835219（一般名：アベマシクリブ）カプセル剤	乳癌における術後補助療法	第Ⅲ相
LY450190（一般名：タダラフィル）錠剤、経口水性懸濁液	肺動脈高血圧症（小児用量）	第Ⅲ相
LY275585（インスリンリスプロ〔遺伝子組換え〕） 新規の超速効型インスリンリスプロ	インスリン療法が適応となる糖尿病	第Ⅲ相
LY3009104（一般名：バリシチニブ）錠剤	アトピー性皮膚炎	第Ⅲ相
LY3012211（一般名：ネシツムマブ）静注製剤	非小細胞肺癌	第Ⅱ相
LY3009104（一般名：バリシチニブ）錠剤	全身性エリテマトーデス	第Ⅱ相
LY3202626（一般名：未定）カプセル剤	アルツハイマー型認知症における進行抑制	第Ⅱ相
LY3074828（一般名：未定）静注製剤、皮下注製剤	潰瘍性大腸炎	第Ⅱ相
LY3074828（一般名：未定）静注製剤、皮下注製剤	尋常性乾癬	第Ⅱ相
LY3074828（一般名：未定）静注製剤、皮下注製剤	クローン病	第Ⅱ相
LY3337641（一般名：未定）錠剤	関節リウマチ	第Ⅱ相
LY900018（一般名：グルカゴン）点鼻粉末剤	低血糖	第Ⅲ相

イーライリリー・アンド・カンパニーについて

イーライリリー社は、世界中の人々の生活をより良いものにするためにケアと創薬を結び付けるヘルスケアにおける世界的なリーダーです。イーライリリー社は、1世紀以上前に、真のニーズを満たす高品質の医薬品を創造することに全力を尽くした1人の男性によって設立され、今日でもすべての業務においてその使命に忠実であり続けています。世界中で、イーライリリー社の従業員は、それを必要とする人々の人生を変えるような医薬品を開発し届けるため、病気についての理解と管理を向上させるため、そして慈善活動とボランティア活動を通じて地域社会に利益を還元するために働いています。詳細はウェブサイトをご覧ください。 www.lilly.com および <http://newsroom.lilly.com/social-channels>

日本イーライリリーについて

日本イーライリリー株式会社は、米国イーライリリー・アンド・カンパニーの日本法人です。人々がより長く、より健康で、充実した生活を実現できるよう、革新的な医薬品の開発・製造・輸入・販売を通じ、がん、糖尿病、筋骨格系疾患、中枢神経系疾患、自己免疫疾患、成長障害、疼痛、などの領域で日本の医療に貢献しています。詳細はウェブサイトをご覧ください。 <http://www.lilly.co.jp>